



令和2年度は、中長期経営計画「金融創生力の発揮と未来への挑戦！」の第3期間「未来への挑戦！」の初年度にあたり、取引先企業の支援や地域経済活性化への貢献等、「地域密着型金融」を推進してまいりました。

今後も“夢を夢で終わらせない信用金庫”として、コンサルティング機能の更なる充実を図りながら、地域の持続的発展に向けた取組みを続け、お客さまと共に豊かな地域の未来を創り上げる「共通価値の創造」の実現に挑戦してまいります。

令和二年度 「地域密着型金融の取組み状況」について

目次

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

- (1) 創業・新事業開拓を目指す取引先企業への支援…P3
- (2) 成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業への支援…P4～5
- (3) 経営改善が必要な取引先企業への支援…P6
- (4) 事業再生や業種転換が必要な取引先企業への支援…P7
- (5) 事業承継が必要な取引先企業への支援…P8
- (6) 企業のライフステージ全般にわたる支援…P9～11

II. 地域の面的再生への積極的な参画

- (1) ビジスマッチングの推進による地域活性化への取組み…P12
- (2) 国や自治体等との連携による地域活性化への取組み…P13
- (3) ライフサイクルに合わせた預金商品の取扱いによる支援機能強化…P14
- (4) 地域活性化ローン「粋」・「雅」の推進…P15
- (5) 新型コロナウイルスへの取組み…P16
- (6) 地域に密着した顧客の組織化推進による多様なサービスの向上…P17
- (7) 信用金庫業界のネットワーク活用…P18

III. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

- (1) ガバナンスの強化…P19
- (2) 地域に対する情報発信…P20
- (3) 会員等に対する情報発信…P20



I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

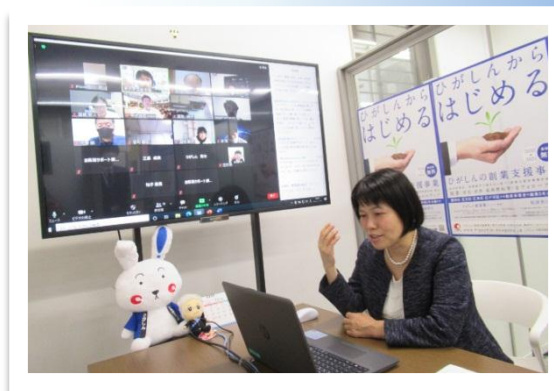
(1) 創業・新事業開拓を目指す取引先企業への支援

① 墨田区・足立区・江東区・江戸川区と連携した創業支援事業の実施

国から認定を受けた各自治体の「創業支援等事業計画」に参画し、「ひがしん創業塾」等の創業支援を実施しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4区合同にて全日程をZoomによるオンラインで開催、40名の方に受講いただきました。

- 「令和2年度ひがしん創業塾」／受講者40名
※創業塾歴代受講者累計／307名 新規創業／38名（創業率12.37%）
- 「相談窓口」による個別相談／14件

創業全般に対する理解度向上や事業計画の策定を支援するとともに、資金調達を含めた課題解決を支援しました。



オンラインによる講義の様子

② 連携機関を活用した創業支援融資（保証協会等、創業支援融資の推進）

- 保証協会 実行件数／203件 ●実行金額／1,219百万円
- 女性・若者・シニア創業サポート事業 実行件数／12件 ●実行金額／123百万円

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(2) 成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業への支援

① 中小企業の多様な資金調達への対応

【推進項目】	【令和2年度実績】
●事業所ローン「さくせす行進曲」の推進	実行件数／507件 実行金額／5,578百万円 (令和1年度対比▲2,420件、▲26,690百万円)
●タイアップ成長支援保証制度の推進	実行件数／18件 実行金額／575百万円
●短期継続融資・資金繰安定化融資の推進	実行件数／90件 実行金額／9,799百万円
●東京都特別借換等の推進	実行件数／26件 実行金額／770百万円
●新型コロナウイルス対策保証協会融資	実行件数／19,075件 実行金額／318,729百万円

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(2) 成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業への支援

② 中小企業への人材マッチング

関東経済産業局と連携し、さまざまな経営課題を抱える取引先企業と、「新現役」（企業OB等で、高度な知識や経験を経営支援に役立てたい方）との“出会いの場”（新現役交流会）の提供を通じて、経営課題解決の支援に取り組んでいます。

令和2年度は、鹿沼相互信用金庫との共催で、ご参加いただいた取引先企業へ、新現役から「経営企画・戦略立案」、「技術・製品開発」、「販売・マーケティング」等の設定テーマに沿った取組み提案があり、その後は課題解決に向けた具体的な支援を行いました。

- 参加企業数／5社
- 参加新現役／18名
- マッチング成立件数／2社



第5回 新現役交流会

③ 取引先企業の海外進出支援

日本貿易振興機構（JETRO）、関東経済産業局、中小企業基盤整備機構、信金中央金庫、海外産業人材育成協会（AOTS）等の支援機関と連携し、取引先企業の海外展開支援に取り組んでいます。

また、タイのバンコクにある泰日経済技術振興協会（TPA）との連携により、バンコク駐在員デスク（ひがしんバンコクデスク）を設置し、TPA職員とTPAへ派遣している当金庫職員で構成する「日タイ海外事業展開プロジェクト」として、タイへの進出企業支援を実施しています。

- 海外進出相談実績／76件（ひがしんバンコク駐在員デスクへの相談／9件）

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(3) 経営改善が必要な取引先企業への支援

① 経営改善取り組み先に対する経営改善計画書の策定とその進捗管理の徹底

地域密着型金融の更なる推進により、コンサルティング機能の発揮と具体的な解決策を提案し実効性のある経営改善計画書の策定（再策定を含む）支援を通じて経営改善支援に取り組むとともに、経営改善計画書の進捗管理をおこなっていました。

- 新型コロナウイルス感染症の影響下において、経営改善計画書の策定を支援することでランクダウン防止をおこないました。
令和2年度における経営改善計画書の策定支援先数は15先となりました。
- 企業支援対象先35先のうち、経営改善計画書の進捗管理先は16先となりました。

② コンサルティング機能の充実

コンサルティング機能の充実を図るため、事業性評価シートを活用した課題解決策の提案をおこなっています。

- シート作成／251件

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(4) 事業再生や業種転換が必要な取引先企業への支援

① 中小企業再生支援協議会、信用保証協会等の外部機関の活用推進

中小企業再生支援協議会、信用保証協会等の公的支援機関と積極的に連携強化を図り、再生支援に取り組んでいます。

- 中小企業再生支援協議会の利用先数／21先
- 信用保証協会における専門家派遣事業等の利用先数／18先
- 東京都中小企業振興公社における事業再生特別相談の利用先数／1先

② 抜本的な再生手法（DDS、再生ファンドの活用等）の活用による再生手法の実施

当金庫の取引先について、中小企業再生支援協議会の支援のもと、スポンサーによる債権買取および事業再生ファンドを活用した抜本的な再生支援について取り組んでいます。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により将来の見通しを立てることが困難であり、抜本的な再生手法の活用を検討すべき案件に着手するも、年度内における実抜計画策定には至りませんでした。

- 抜本的な再生手法の活用見込先／2先

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(5) 事業承継が必要な取引先企業への支援

① 外部支援機関との連携による事業承継、M & A 等の支援

昨年度に引き続き、取引先企業を対象に事業承継の取組状況実態調査のための事業承継アンケートを実施しました。その結果を踏まえて、国、自治体、M & A 仲介会社等と連携して事業承継やM & A の支援に取り組んでいます。専門家派遣や事業承継税制に詳しい税理士とのマッチング等を通じて取引先企業ごとの状況に応じてきめ細やかな支援をおこなっています。

● 事業承継相談件数／163件 ● M & A 相談件数／8件

② 組織化による交流活動を通じた人材育成

ひがしん若手経営者の会ラパン（若手経営者等で構成）の活動強化と広域連携先の信用金庫取引先との交流をおこなっています。各種セミナーや異業種交流等を通じて、経営に対する関心を高めるとともに、事業承継や諸問題の解決に向けたサポートをおこなっています。

● 津山信用金庫若手経営者とのWeb交流会/10名



津山信用金庫若手経営者との
Web交流会

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(6) 企業のライフステージ全般にわたる支援

① 取引先事業者の事業性評価に基づく支援の促進

事業性評価シートを活用し、地域事業者の資金ニーズに対する支援を積極的におこなっています。

●与信先数／224件 ●融資残高／13,704百万円

② 中小企業応援センターによる経営相談および専門家派遣等の実施

地域中小企業（未取引先含む）の経営・技術課題に対応するため、当金庫中小企業応援センターによる経営相談のほか、よろず支援拠点等の外部機関と連携し課題解決を支援しています。

●相談件数／2,045件（令和1年度対比+1,369件） ●外部専門家の活用件数／145件

③ 補助金・助成金の活用、申請支援

取引先企業の新規設備投資や新事業展開等を後押しするために、補助金・助成金の申請を支援（事業計画策定支援等）しました。

●補助金、助成金申請支援件数／1,876件（令和1年度対比+1,697件）



オンライン補助金・助成金説明会

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(6) 企業のライフステージ全般にわたる支援

④ 東京海洋大学、芝浦工業大学、千葉商科大学、東京理科大学、東洋大学、電子学園、千葉大学、東京電機大学、青森山田学園、都立産業技術研究センター等と連携した経営・技術相談の実施

高度な専門性を必要とする技術課題については、大学や公設試験研究機関等と協働して支援をおこなっています。

● 技術相談実績／15件

東洋大学と連携し「オンラインシンポジウム～Tokyoイーストの“元気”と地域中小企業の挑戦～」を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンライン形式での開催となり、4事業者と東京都産業労働局とのパネルディスカッションがおこなわれました。また、シンポジウム専用の特設サイトを開設、小池百合子東京都知事よりお祝いの「ビデオメッセージ」をいただいたほか、事業者の事前インタビュー動画も掲載し多くの方に視聴いただきました。

● 令和2年12月17日開催

芝浦工業大学、東京理科大学、東京電機大学と連携し、産学官金連携による城東地域の活性化を目的とした「城東地域活性化協議会」へ参画しています。

● 開催回数／6回

芝浦工業大学との協業により、取引先企業の商品開発を支援しました。デザイン工学科の研究室が新商品を研究・デザインし取引先企業6社へ提案しました。そのうち3社が新商品発表に向けて取り組んでいます。

● 参加企業／6社（うち商品開発3社）



東洋大学・東京東信用金庫オンラインシンポジウム



芝浦工業大学学生によるデザイン提案

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(6) 企業のライフステージ全般にわたる支援

⑤ 販路開拓支援の実施

営業活動の中で、取引先企業から寄せられる販路開拓ニーズに応じて、営業店と本部が協力してビジネスマッチング等を支援しています。

● 販路開拓支援件数／1,477件

⑥ ものづくり企業を対象とした商品開発支援の実施

墨田区の「新ものづくり創出拠点」事業の採択を受けている(有)セメントプロデュースデザインと協業で、ものづくり事業者を対象とした商品開発勉強会（東京職人工房）を実施しました。

東京職人工房では、取引先企業が自社や競合企業の分析に取り組み、自らの強みを再定義したうえで今後の経営戦略を企画できるよう、基礎知識の習得と商品開発等のアドバイスをおこないました。

● 商品開発勉強会（東京職人工房）／7回



東京職人工房の様子

Ⅱ. 地域の面的再生への積極的な参画

(1) ビジネスマッチングの推進による地域活性化への取組み

令和3年3月24日から令和3年6月30日まで、「ひがしんビジネスフェア2020オンライン」を開催いたしました。コロナ禍においても地域の中小企業の優れた商品や技術を広く知っていただき、新たな販路拡大・ビジネスチャンスの創造を目指して、当金庫初のオンラインでの開催となりました。当金庫の取引先に限定せず、全国の信用金庫のお取引先にも幅広くご出展いただき、産学官金、広域連携推進の一環としても大きな役割を担っております。

「ひがしんうまいもの市」をはじめとする6つのコンテンツで構成された“特設商店街”や、第20回開催記念スペシャル企画として先着でのトートバッグプレゼント、「宝探しゲーム」・「スタンプラリー」による商品の抽選プレゼントやひがぴょん特製壁紙のプレゼントなど、オンラインならではの企画を充実させ、リアルイベントにも劣らない内容となりました。



ひがしんビジネスフェア2020
オンライン

●出展企業数／572企業（広域連携信用金庫／28信用金庫、出展企業数84企業）

●バイヤー参加数／19社

○ビジネスマッチング成約件数…4件（令和3年5月28日現在）

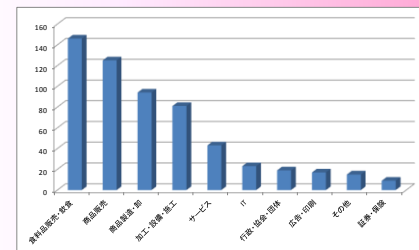
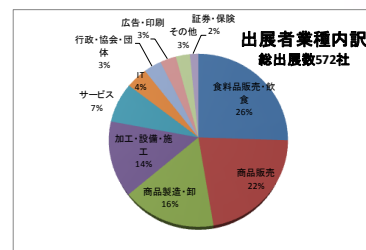
○サイト内販売実績…10,122件、12,508千円

（令和3年6月18日現在）

○サイト期間中の閲覧延べ人数…26,080人

○期間中のページビュー数…230,236ページ

※出展企業業種別割合



Ⅱ. 地域の面的再生への積極的な参画

(2) 国や自治体等との連携による地域活性化への取組み

気仙沼「地産都消プロジェクト」

東京海洋大学、気仙沼信用金庫と広域連携し、東日本大震災で打撃を受けた三陸気仙沼の漁業者・水産加工業者と、都内の飲食店・食品販売業者等とを結び付け、各々が売上拡大できるよう様々な支援に取り組んでいます。

●東京と気仙沼をつないだTV会議の実施／7回

昨年度は、気仙沼市がブランド化を進めている「メカジキ」の美味しさを広く消費者に知ってもらうのと同時にコロナ禍で苦慮している飲食店の応援、また発生より10年経つ東日本大震災を風化させないことを目的に、墨田区（墨田区商店街連合会）および船橋市での協力飲食店とコラボした気仙沼産メカジキを活用したお弁当の販売会を実施しました。



墨田区の飲食店とコラボしたお弁当販売



船橋市の飲食店とコラボしたお弁当販売

Ⅱ. 地域の面的再生への積極的な参画

(3) ライフサイクルに合わせた預金商品の取扱いによる支援機能強化

【預金商品】	【令和2年度実績】
● ひがしんファミリー向けとくとく定期積金	契約件数／625件 契約金額／654百万円
● 退職金定期預金「ひがしん 輝（かがやき）」	契約件数／154件 契約金額／1,523百万円 (令和1年度対比+56件、+384百万円)
● 年金受給者向け定期預金「わ～い・わ～い500」	契約件数／36,651件 契約金額／69,339百万円 (令和1年度対比▲366件、▲170百万円)
● ひがしん運転経歴証明書定期預金	契約件数／46件 契約金額／73百万円

Ⅱ. 地域の面的再生への積極的な参画

(4) 地域活性化ローン「粹」・「雅」の推進

地域の資金ニーズに応える事を目的とし、創業される方または創業後5年未満の方に限定した商品として、事業先対象の「粹」、個人対象の「雅」として、取扱いをしています。

【商品概要】	【実績】
●「粹」 地域活性化に貢献するため、当金庫営業地域内で創業される方または創業後5年未満の方を対象に日本政策金融公庫との協調融資を実行しています。	実行件数／11件 実行金額／37百万円
●「雅」 個人向けに「健康で文化的な生活を営む為に必要な資金」をご融資し、生活の質向上に貢献しています。	実行件数／12件 実行金額／28百万円

Ⅱ. 地域の面的再生への積極的な参画

(5) 新型コロナウイルスへの取組み

①WEB完結ローン取り扱い開始（令和2年4月から）

仕事の都合などで相談・申込みの来店が難しいお客様のために、お好きな時間にWEB上で手続きが完結できるWEB完結ローンの取り扱いを開始いたしました。

【商品種類】	【実績】
●カーライフ ●教育ローン ●一般個人ローン ●カードローン	実行件数／70件 実行金額／120百万円

②「生活資金支援ローン」取り扱い開始（令和2年7月から）

新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に収入が減少し、生活資金に不安を感じるお客様に向けて、当座の資金をスピーディにご利用いただけるよう「生活資金支援ローン」の取り扱いを開始しました。

【商品内容】	【実績】
●新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少によって必要な生活資金 ●貸付限度額 50万円	実行件数／1,463件 実行金額／675百万円

Ⅱ. 地域の面的再生への積極的な参画

(6) 地域に密着した顧客の組織化推進による多様なサービスの向上

【各顧客組織】	【実績】
【事業主の会】 ひがしんビジネスクラブ「オーロラ」	● 年1回の会員大会開催（令和3年3月8日） 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオンライン開催 ● オーロラ・ラパン会員様限定 「櫻井よしこ氏 特別オンラインセミナー」の開催 ● 令和3年3月末会員数／1,615名
【若手経営者の会】 ひがしん若手経営者の会「ラパン」	● 年1回の会員大会開催（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止） ● オーロラ・ラパン会員様限定 「櫻井よしこ氏 特別オンラインセミナー」の開催 ● 他団体とのWeb交流会の開催 ● 令和3年3月末会員数／263名
【女性の会】 ひがしんレディースクラブ「レインボー」	● 年1回の会員大会開催（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止） ● 絵てがみ教室の開催 ● 「カタログギフト」配布 ● 令和3年3月末会員数／439名
【年金受給者の会（当金庫受給口座指定者）】 ひがしん わいわい倶楽部	● 文化、教養、趣味などの講演会・講習会の開催（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止） ● 旅行、観劇会、セミナー等の開催（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止） ● 無料相談（健康・介護・年金・税務・法務）サービス ● 令和3年3月末会員数／77,376名

Ⅱ. 地域の面的再生への積極的な参画

(7) 信用金庫業界のネットワーク活用

① “ひがしん若手経営者の会「ラパン」”と“津山信用金庫若手経営者”とのWeb交流会の実施（令和2年10月23日）

●ラパン会員4名参加

ラパンの視察旅行先として津山市を訪問予定でしたが、新型コロナウイルスの感染症拡大を考慮し訪問を延期としたため、オンラインでの交流会となりました。

②津山信用金庫「葡萄販売」への協力

●令和2年4月「地方版総合戦略に関する協定」の締結をいたしました津山信用金庫（岡山県津山市）より地元葡萄祭りに際する販売協力依頼がありました。

令和2年9月当金庫各店にて一括購入を行い、各店取引先への贈答品として取扱いいたしました。

③津山信用金庫「津山物産展」の開催

●津山信用金庫との事業の一環として「津山物産展」を両国支店と錦糸町支店にて令和2年11月25日から令和2年12月25日まで開催いたしました。

両国支店では「工業生産品」を、錦糸町支店では「農畜産物」を展示いたしました。

④鹿沼相互信用金庫「新現役交流会」の共催

※5ページ参照願います。

⑤気仙沼信用金庫「地産都消プロジェクト」の実施

※13ページ参照願います。

⑥広域連携28信用金庫

「ひがしんビジネスフェア2020オンライン」への参加

※12ページ参照願います。



ひがしん若手経営者の会「ラパン」
津山信用金庫若手経営者とのWeb交流会



シャインマスカット



津山物産展
両国支店

Ⅲ. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

(1) ガバナンスの強化

① 「金融仲介機能のベンチマーク」の公表

地域経済の活性化に貢献するために、積極的にベンチマークを活用し、金融仲介機能の質を高め企業の価値向上や生産性向上等を図ります。

- 金庫ホームページにおいて実績を公表しております。

② 「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する取組方針」、「成果指標」の公表

お客さまの安定的な資産形成の実現を目指し、お客さま本位の業務運営を実践します。

- 金庫ホームページにおいて「取組方針」と「取組事項及び実施状況（成果指標）」を公表しています。

③ ひがしん「経営報告会」の開催

信用金庫版のIR活動として「経営報告会」を開催しています。
出資会員のお客さまを中心に、当金庫の経営内容や経営方針をわかりやすくお知らせしています。

- 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催を見送ることいたしました。
今後は地域から一層頼られる信用金庫を目指して、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、開催いたします。



令和元年度 経営報告会

Ⅲ. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

(2) 地域に対する情報発信

① デジタルサイネージ、アプリ等を利用した情報発信

- 当金庫の取組みや各種行事等を「デジタルサイネージ」にて全店（本支店・有人出張所）へ四半期毎に内容を変更して配信しています。
- ひがしん公式「アプリ」／登録数6,473件（令和3年5月時点）
お客さま組織「オーロラ・ラパン・レインボー・わいわい倶楽部」などのイベントやセミナーの情報をご案内しています。



公式アプリチラシ



「Good Smile」
22号

② 当金庫情報誌「Good Smile」での情報発信

- 当金庫情報誌「Good Smile」 発行部数／24,000部

③ 特殊詐欺未然防止に対し感謝状が授与されています！

『 令和2年度防止額 43件 25,291千円 』

- 当金庫では、お客様の大切な財産をお守りする為、巧妙な手口の特殊詐欺の未然防止を心がけると共に職員の連携、警察署の方のご協力をいただき多くの未然防止が図られています。
それに伴い各地域の警察署より職員に対し、感謝状が授与されています。



警察署からの感謝状授与

(3) 会員等に対する情報発信

- 「ひがしんインフォメーション2020」を金庫ホームページに公開し、新型コロナウイルス感染症対策や地域密着活動などについて紹介しております。詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.higashin.co.jp/company/higashin-info.shtml>



ひがしんインフォメーション
2020